



富岡製糸場と生糸づくりの街並みを訪ねる

2005年11月5日(土)



目的：近代産業遺構として一級品である富岡製糸場及び関連施設、集落を訪ねる。富岡製糸場及び関連施設については、群馬県と富岡市が世界遺産の登録に向け活動中である。富岡市の街づくり方針においても製糸場を核とした街づくり方向が示されている。世界遺産級の産業遺構と都市デザインの展開を探る。

概ねの日程(11月5日)

8時頃 新宿駅西口をバスにて出発

関越道、上信越道で松井田妙義 I.C. から 18 号、旧中山道

富岡製糸場及び周辺の市街地を見学

当日、製糸場で開催されている『製糸場国史跡指定記念講演会』に参加(予定)。

これにより、通常は入れない製糸場の中に入れるものと思われます。

富岡市において、地元街づくり団体の方々と意見交換(予定)

夕食・懇親など

バスにて 新宿駅夜 9 時頃までに帰着



参加費(バス代等): 会員 2,000 円、非会員 3,000 円、学生 1,000 円

昼食他飲食関連費は各自払いまたは別途徴集

申込先、定員：高見まで、メールまたはファクスにてお願いします。

バス 1 台のチャーターですので、先着 40 名とさせていただきます。

(株)日本都市総合研究所 高見公雄

FAX : 03-3230-3408 e-mail : takami@nihon-toshi.co.jp